

どこがちがう？ 慣用句の直し④

なまえ _____

場めん に 合わない 慣用句を 直そう～がんばりと 結果の 場めん～

ひづけ _____

- ・問1は 下線が 引いて ある。問2からは、がんばりや 結果に 合わない 慣用句の ところに 自分で 下線を 引こう。
- ・場めん に 合う 慣用句に 直して、文ぜんぶを 横線に 書こう。ことばの おわりは かえて よい。
- ・問1～2は 下の 箱から えらぼう。箱の ない 問は、場めん に 合えば どの 慣用句でも よい。
- ・直さなくて よい 文は、下線を 引かずに、横線の 上に 『なおさない』と 書こう。

- (1) 場めん ピアノを もっと じょうずに なりたくて、毎日 練習を つづけた。

ぼくは 油を売った。

→ _____

- (2) 場めん 転校生の 絵が とても じょうずで、すっかり 感心した。

わたしは 鼻を折った。

→ _____

- (3) 場めん 入学したばかりの 弟が、水泳の 大会で、みんなが おどろく ほど 速く 泳いで 注目された。

弟は 水泳の 大会で 二の舞^まを演じた。

→ _____

- (4) 場めん 習字を 毎日 つづけたら、字が 前より ずっと きれいに なった。

ぼくは お茶^{にこ}を濁した。

→ _____

- (5) 場めん ずっと 勝てなかった 兄と、ついに 同じくらいの 力に なった。

ぼくは ついに 兄と 雲泥^{うんでい}の差だった。

→ _____

- (6) 場めん なんとなく 引いた くじで、一等が 当たった。

これは ぼくに とって 水の泡^{あわ}だった。

→ _____

- (7) 場めん 司会を 一年 つづけたら、すっかり なれた。

ぼくの 司会は すっかり 板についた。

→ _____

- (8) 場めん マラソン大会で、足が いたくても、くやしさに たえて 走りぬいた。

ぼくは 気を抜^ぬいて 走りぬいた。

→ _____

- (9) 場めん クラスの みんなは、ゆうきさんの 努力を 見て、すごいと みとめた。

みんなは ゆうきさんに 背を向けた。

→ _____

- (10) 場めん この 店の ケーキは 味が たしかだと、だれもが みとめて いる。

この 店の ケーキの 味は 根も葉もない。

→ _____

ことばの 箱(問1～2で つかえます。つかわない ことばも あります)

蛙^{かえる}の子は蛙^{かえる}

腕^{うで}を磨^{みが}く

木で鼻をくくる

舌を巻く

